



123 令和7年4月に新たに開所した「桜沢学童ひだまりクラブ」。一軒家（戸建）を活用し家庭的な雰囲気の中で広々とした施設。キッチン完備でおやつも準備できる。

桜沢学童の新設で、子ども1人ずつのスペース確保が改善されました。大変良かったと思います。あとはトイレですね。新しい学童はトイレが一つなので、これが改善できたら、もっと子どもたちのためになると思います。

大谷明美さん（桜沢）



令和7年度一般会計予算は141億1187万9000円（前年度比4.6%増）で、財源の大半を占める町税収入は過去最高額の52億9829万5000円（前年度比0.9%増）。
この貴重な財源を、町はどう効果的に予算配分したのか。
今号では、一般会計歳出の上位5費目について、町民の声と共に注目を集める。

令和7年度

予算Top5
議会はこちらを見る

フカボリ

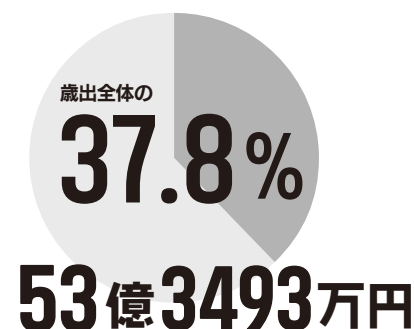
歯止めがかからぬ少子高齢化
民生費ふくらみ

過去最大予算

① 民生費

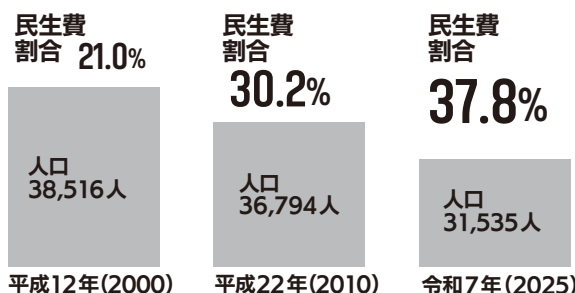
介護・子育て・高齢者・障害者等、福祉に使うお金

※P.4～P.9 金額はすべて万円単位（以下切捨）で表記



データで見る寄居町

人口は減っているが民生費割合は増えている



注）人口は平成12年・22年共に同年10月1日、令和7年は4月1日現在。民生費の割合は平成12・22年が共に前年度決算数値、令和7年は予算数値。

年々増加の民生費

「加速する福祉の需要」にえられるか

視点・論点・注目点
予算審議で見てきた寄居の今
一般会計の目的別歳出の中で、最も高い割合を占めるのは民生費。少子高齢化への対応が町の財政にも大きな影響を与えていることがわかる。
町の人口がピークだった平成12年から人口は減となりながらも、民生費の割合は増加。厳しい財政運営の中でも、加速する福祉関連の需要に対して、「効果のある事業化がなされているか」に注目したい。

利用率上昇「学童保育」
「共働き世帯の増加」「女性の就業率の増加」「核家族の増加」等、社会的な背景により学童保育の利用率は年々上昇。令和7年4

月1日現在、町内小学校の全児童数1200人中、39%にあたる471人が利用している。町には13か所の学童施設があるが「キッチンやトイレが完備されていない」「施設が狭く子どもたちがぎゅうぎゅう詰め」などの課題も…。子どもたちのびのびと過ごす環境整備が必要だ。



子ども達と楽しくがんばります！

桜沢学童支援員
田沼美智子さん（深谷市）



桜沢学童「おひさま（第1第2）」は、本来40人規模の施設であるべきところを、80人前後の児童が利用していました。新しい学童「ひだまり」が新設されて、こちらに26人が移ると、子ども達が落ち着いて過ごせるようになり、とてもありがたいです。

桜沢学童支援員
小川亜希子さん（本庄市）



学童（放課後児童クラブ）については寄居町HPをご覧ください

注目事業

こども家庭センター運営事業 1456万円

子育て世代包括支援センターを「こども家庭センター」に拡充し、児童福祉と母子保健の業務を実施

子育て支援交付金 620万円

第1・2子出生時に3万円分、第3子以降は5万円分を地域通貨Yori-Caポイントで支給

学童クラブ新設 1726万円

待機児童対策として、新たに桜沢小学校区に学童クラブを開設